

# 石神地区社会福祉協議会（福祉部会）

## ふれあい敬老会

会長 今橋 絹枝

6月21日（日）石神コミセンにて、ふれあい敬老会が行われました。当日は雨模様でしたが、80歳以上の招待者122名が出席して下さいました。地域で見なれた方々の演芸や、シルバーリハビリ体操そして昔なつかしい童謡などを楽しんだ後、お祝いの赤飯と手作りの煮物の昼食で、とても和やかな雰囲気を楽しまれている様子でした。年々招待者が増えてきており、高齢化を強く感じました。初めての大会で不行届きの点も多くあり、お詫び申し上げますと共に、関係者のご協力に感謝いたします。



## ふれあい協力員リーダー研修

支え合い部会長 西村 久雄

石神地区社協ふれあい協力員リーダーと支え合い部会の合同研修会を、5月29日（金）開催しました。講師として介護福祉課地域包括支援センターの方をお願いしました。講話内容は介護予防に関する事で、認知症の早期発見のポイント（見つけ方・見分け方）と認知症の検査等でした。益々高齢化が進み、避けては通れぬテーマであり、多くの方が真剣に受講されました。介護予防には充分気を配り、認知症の高齢者が安心して地域での生活ができるように、住民の認知症に対する理解と見守りに、意識を高める必要があるのではないかと私も再認識しました。



## 子育て支援事業 七夕祭り 根本 仁子

7月2日（木）石神地区で子育てをしている方を対象に「七夕祭り」を開催しました。「元気いっぱい、優しい子に育ててね」「家族そろって、健康ですごせますように」などの願いごとをつるした七夕飾りを作り、それぞれ家族ごとに持ち帰りました。お茶会をはさんで、リトミックや読み聞かせも楽しみました。〈16家族、乳幼児19人、スタッフ18人〉参加者同士の交流を深めることができた一日となりました。また、東海村母子保健推進委員さん30名余が参観して下さいました。



## ふれあい協力員研修会

9月16日（水）石神コミセンにおいて、約70名の参加のもと研修会が開催されました。午前は東海村福祉部介護福祉課看護師二人の講師にお越しいただき「認知症を予防するための生活習慣」「一緒に踊ろう～エンカサイズ」の出前講座を実施。午後は、鈴木ハープ研究所の平岡洋子先生他スタッフ5名の方から、ハンドトリートメントの方法をわかりやすく説明して頂き、実際に体験をしました。



## 食育啓発事業 ふれあい部会長 照沼 早智子

10月3日（土）電気を使わない調理を各地区ふれあい会員で5回目の「災害時に役立つ食事作り」をしました。今回は米粉とすいとん粉を使い、旬の野菜、サバみそ煮缶を使用し、カレー粉少々としょう油で味付けしたすいとんを作りました。2品目は野菜サラダ。千切り野菜（大根・人参・玉ネギ・キャベツ）をビニールの袋に入れ、煮立ったお湯に3分間入れて取り出し、ドレッシングをかけます。青空の下で各地区の方55人で試食をいたしました。美味しいとの声が上がりました。自分達の試みを各地域に広げていけたらうれしいです。



昨年ビニール袋を使用して作ったごはん（米0.5合、水130cc）は、今年外宿二区の地区交流会で実施して成功したとのことでした。